

昨年、年号が「令和」に変わり新しい時代が幕を開けましたが、今年、大きな行事は何と言っても東京オリンピックでしょう。日本選手団への期待は、プレ大会での活躍をベースに高まり、世界中からお客様が日本を訪れ海外交流の輪が、一層深まる年になりそうです。そのような中、小名浜まちづくり市民会議は設立から20年を迎え、1つの団体として大人の仲間入りを迎える年になります。今までの活動を礎に次の時代を見据えて地道な活動に着手することが求められます。

「まちづくり」とは何かと問われるとき、「自分たちが住みたいまちをつくること」と私は思えます。「住みたいまち」とはそれぞれの方がイメージする内容が

つある今、将来を見据え、新たな「住みたいまち」の具体的な「絵」（小名浜まちづくりランドデザイン第三版）が必要になってきました。今年は、その「絵」を描き上げ、その内容の実現に向けた活動を開始していく年になります。人口の減少、少子高齢化、既存施設の老朽化と再活用等、昭和、平成という右肩上りの時代の遺産をうまく整理活用し、「令和」らしいまちづくりを進めていきたいと思えます。ゆつくりと流れる時間を楽しめるような生活空間や便利な交通環境がある、健康維持や被災に対応できる安心感がある、若者がエネルギーギッシュに活動できるまち等々、私たちが住みたいまちへの「夢」は尽きません。多くの方々の意見をもとに、一つ一つ形にできるようにコツコツと事業を進め、その夢が現実となる姿を今年の「初夢」としたいと思えます。今年一年よろしくお願ひ致します。

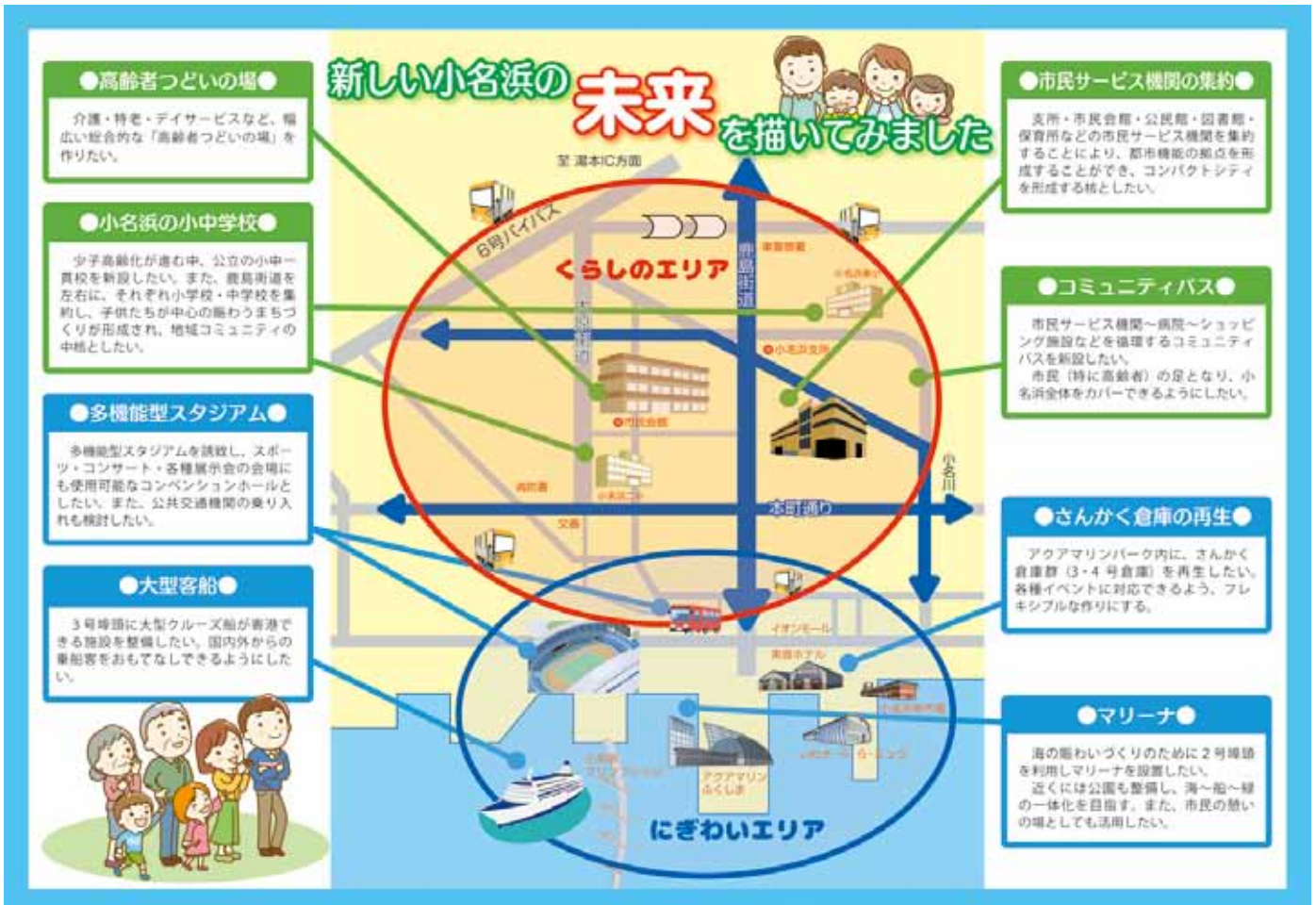


会長 小沼 郁互

初夢

しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり
市民会議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
令和2年1月20日



2019年版 港まち・おなはま グランドデザイン



小名浜まちづくり市民会議が誕生したのは、アクアマリンふくしまと同じ2000年です。それ以前の小名浜港の色彩は灰色のコンクリートしかない殺風景なものでしたが、いわき・うら・ミュウと共に市民が憩えるエリアとして生まれ変わったときでした。

商業施設イオンモールいわき小名浜が開業したのも、こうした絵を描いた市民会議の素地があつたからでした。20年近い時をかけて、最初のグランドデザインは目に見える形として実つたのです。

次の課題は、港に生まれた賑わいをまちと結びつけること。具体的には、港湾背後地の貨物ヤードを移転し再開発すること、いわき市の大動脈である鹿島街道を拡幅し小名浜港に直結させること、そして港町の源流にある歴史や文化を掘り起こすこと、などなど。そうした小名浜の「次の時代」の絵をグランドデザインとして描くことが、市民会議の最初の仕事でした。震災を逆手にとつて大型

しかし、まちづくりは完成したわけではありませんが、日本社会を飲み込む少子高齢化、人口減少の波は、小名浜にとつても大きな課題です。これからも小名浜が魅力的で活力のあるまちであり続け、住んでよかつたと思えるまちにするには、どんな「次の一手」が必要でしょうか。

「にぎわいエリア」には、サッカーを中心とした多機能型スタジアム、大型客船の誘致、震災で失われたマリナーの再生、やはり津波で失われた小名浜さんかく倉庫の3・4号倉庫再建を、

育てること、まちづくりの担い手を育てること、まちの魅力を発信し交流の輪を広げることも大切なことだと考えています。

支所、市民会館、公民館、図書館、保育所など公共施設の集約、高齢者のつどいの場づくり、コミュニティバスの運行、少子化を見据えての小中学校統廃合を。絵には描ききれませんが、歴史や文化を守り

グランドデザインは、小名浜のまちの皆様と一緒に完成させたいのです。私たちの描いた下書きに「賛成！」も「反対！」もあり出来れば「もつとこうしたら」というアイデアをいただければ、よりよい絵が出来上がるでしょう。小名浜まちづくり市民会議までご意見をお待ちしています。

グリーンスローモビリティを活用した 次世代交通システムの実証

最近、小名浜地区で黄色い小さなバスがトコトコと走つてのを見かけませんか？

り、そのなかのコンビニや金融機関など、暮らしを支える20箇所が乗降ポイントとなります。

11月26日から小型低速EVバス「グリーンスローモビリティ」の実証運行が始まりました。平日は電話やスマートフォンでタクシーの様に呼び出すデマンド型の運行、土日は港湾部を周遊しており、バスの様に利用する巡回運行です。

利用料金は100円（小学生以下無料）。スタクラ加盟店など小名浜地区の対象店でサービスが受けられる利用者特典もあります。実証期間は3月8日まで。寒くなつてしまいましたが、ちよつとした移動にはなかなか便利です。黄色くて可愛らしい「100円バス」に、ぜひ乗車ください。

東はチーナン食堂を結ぶ区域の界隈が運行エリアとな

平日ご利用の場合は、いわきタクシーグループ



▲昨年11月に回覧で小名浜地区に全戸配布されました



☎0246-5414649へ

小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へ 全体会議開催のお知らせ

1月27日(月)午後6時30分より、まちづくりステーション小名浜3階において、1月全体会議を開催します。今月は小名浜消防署の方をお招きし、「風水害から身を守るため」と題し講演を行う予定です。会員の皆様は是非ご参加ください。



上記QRより サイト予約して いただけます

小名浜まちづくり 市民会議とは...

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時FBに活動状況をアップしています。見つけられず、いいね！してください。



©小名浜まちづくり市民会議 / 福島ガイナックス

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込み：いわき市小名浜字本町 11-1 (まちづくりステーション小名浜)

TEL：52-1275 FAX：52-1415

http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp